

桜花棟

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	7	
理念に基づく運営	1 理念の共有	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・入居者一人ひとりが当施設で、暮らしやすいよう支援できる理念を構築している。	0	
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・月1回のミーティング時に共有し、実践できるよう話し合いを行い、新入職者に対しては、職員研修を行って理解してもらっている。	0	
	3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	・家族へは、施設来所時、地域の方へは、推進会議などで説明を行っている。	0		
	2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	2	
	2 地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・天気の良い日は、近隣への散歩に出かけ、近所の方や保育所など、地域の方々と挨拶ができている。特に隣の保育所では、散歩に出かけると、園児が利用者へ駆け寄ってきて話しかけてくれる。又近所の方も庭のお花を摘んで利用者へくださったりと、日常的なおつきあいができている。	1	・より当施設の事を知ってもらえるように、近隣住民向けの施設便り等の作成を行いたい。
5 外部評価3		地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・町内の清掃活動に参加をしたり、行事に参加をお願いするなど、徐々に交流ができている。 ・回覧板を、やりとりするなかで地域の一員として参加できている。	1	・地域のお誘いや、回覧板の内容などを活かし、交流の機会を増やしていきたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合 の い	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・地域運営推進委員会開催時に、地域の住民の代表の方たちから、町内の高齢者の状況などをお聞きし、意見交換を行っている。又施設主宰の「認知症関連の講演会」などの開催時には、地域の方にも参加の声かけを行っている。	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	2	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・外部評価前に、意義を職員全体で理解できるように説明し、評価後は、その内容を話し合い、改善に向けて取り組んでいる。	1	・前回の評価で低かった地域とのつながりにも、町内の清掃活動に利用者と一緒に参加したり、施設の行事にお誘いし参加してもらうことでつながりが増えてきた。
	3 理念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・評価後の推進会議で報告し、内容を説明し、今後の取り組みについて話し合いを行っている。	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・近隣の事業者との連携のために、地域にどのような事業者があるか尋ねたりしている	0	
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・各種講習や講義に参加し、学ぶ機会を活用し、必要な方には、支援ができる説明を行っている。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・各種講習や講義に参加し、学ぶ機会を活用し、全職員へはミーティング時に説明し防止に努めている。	1	・事例集などを参考に、勉強の機会を増やしていきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	1	
理念に基づく運営	4	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・入居前、退去前に数回の面談時間をとり契約及び解約内容を充分説明し理解してもらっている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・介護中の利用者の言葉などから、利用者の不満や苦情等をくみ取れるよう常に注意をしている。相談を受けた時は、その都度、対応している。	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	・定期的な家族へのお便り(写真)で日常の暮らしぶり等でお知らせしている。健康状態などは状況の変化があった時には、必ず電話で報告している。又施設への来所時に、状況などもお伝えしている。	1	・現在のお便りの内容を、今以上に詳しく分かるように改善して行きたい。
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・ご意見箱を設置し、又、気軽に意見を言えるよう、ご家族の来所時には、常に声をかけるように心がけている。 ・契約時に、他の相談窓口(関連病院の医療ソーシャルワーカー、市の介護保険課、国保連等)について説明を行っている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・意見や提案がある場合は、ミーティングや職員の業務目標設定、評価時に十分な面談を行い、聞く機会を設けている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・8名の職員で、行事や利用者の状況に応じ、必要な時間帯の勤務者の増員を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基 づく運 営	4 理 念 の 実 践 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるよ うに、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利 用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・日頃より職員は、馴染みの関係を取り、離職者 が出ても不安が無いように他の職員でカバーでき ている。	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	2	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や 年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生 きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよ う配慮している	・20代~60代までの幅広い年齢層、経験で職員を 採用している。 ・本人の希望があれば、講習など参加できるよ う、勤務にも配慮を行っている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するた めに、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	・講師やビデオによる講習会を行っている。 ・尊厳ある介護という意味で言葉使いについての 勉強会をアンケートなどを取り入れながら行った	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をた て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニ ングしていくことを進めている	・実践者研修や管理者講習などへ、段階に応じた 職員を受講させている。 ・その他の必要と思われる内容の講習に、職員を 参加させている。	1	・希望があれば、個人の資格取得を支援してい る。
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、 ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービ スの質を向上させていく取り組みをしている	・分からないこと等近隣の同業を訪問又は電話で 相談などを行っている。又実施できていないが、共 同で職員の研修会などを行うという提案をしてい る。	1	・同業者との交流を深め、共同での職員研修会等 を考えていきたい。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境 づくりに取り組んでいる	・職員と話す時間を設け、悩みや訴えを聞きスト レスの解消ができるように努めている。 ・主な休憩場所に冷暖房完備の和室を使い、枕、 毛布等寝具が整っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・業務目標設定時、評価時の面談で職員の実績を把握し、向上心を持って働けるよう評価及び助言を行っている。又資格取得ができた場合には「頑張ったこと」への称賛の言葉かけをしている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10項目・外部評価 2項目	2	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価 4項目・外部評価 1項目	0	
	1 相談 から 利用 に至 るま での 関係 づく りそ その 対応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・入居前にはご本人にも必ず見学していただいている ・入居前に必ずご本人とも面談の機会を設け、お話しすることで、ご本人の心身の状況などを理解把握することに努めている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・施設見学時や入居相談時には十分な面談時間を取り、ゆっくり話を聞くようにしている。又介護で頑張ってきたことに、必ずねぎらいの言葉かけをするように心がけている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・相談を受けた時は、必要に応じて居宅のケアマネージャーに相談をつないでいる。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・ゆくゆくグループホームに入居希望ということで、同じ敷地内にあるデイサービスを利用してもらい当施設に慣れていただく等も行っている。 ・ご本人やご家族の希望によっては自費による体験入居も行っている ・アセスメントを活用し、できるサービスを徐々に実施している。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価 6項目・外部評価 1項目	2	
係り と 新 た な 関 係 づ く り の 支 援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・調理や掃除、洗濯もの干しなど一緒に行い、共に支えあう関係が築けている。	1	・個人の趣味や特技を活かし、楽しみを増やしてもらうよう取り組んでいる。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・行事や利用者の記念日（誕生日、敬老会等）には、ご家族にも参加をお願いし、一緒にお祝いをしたりしている。 ・又ご家族に状況把握をしていただくという意味で、定期の病院受診はできるだけご家族の付添いをお願いしている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・入居前及び入居時に、ご本人ご家族からよくお話を聞いて家族間の関係を理解し、より良い関係が築いていけるように支援している。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・ある入居者の方は、幼馴染みの方との葉書きのやりとりができるよう支援している。 ・他の方へも年賀状や電話で、遠方の方と関係が維持できるよう支援を行っている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・入居者の性格を把握し、入居者同士が共に助け合ったり、作業（食器拭き、洗濯物干しなど）を一緒にできるよう、工夫し声かけを行っている。	1	・常に目を配り孤立がないよう注意をしていきたい。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・他の施設に退去されたり、病院に入院されている時など、様子を伺いに行っている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	4	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	1	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・生活暦を確認し、本人の意思を聞き、希望に沿った生活ができるよう支援を行っている。	1	・引き続き、本人の意向の把握に努めていきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・家族や身近な方、前入居施設等に確認し、総合的な把握に努めている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・入居後はケア記録を細かく記入し、状態や現状を全ての職員が、共有して把握できるよう取り組んでいる。 ・各職員が気付いたこと等は、一日申し送り時や申し送りノート等を活用し、情報共有を行っている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・初回の計画は居宅での担当ケアマネージャーさん等にも相談しながら計画作成している。 ・計画更新時はもちろんのこと、利用者やご家族には日常的にお話しや意見をお聞きし、計画の作成に役立てている。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・定期に見直しを行い、途中変化が生じた場合は、その都度本人やご家族に相談及び説明を行い、サービスの追加を作成している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・個別ケアや個別記録に記入された内容を確認し、ミーティング時や申し送りノート等で情報を共有し、見直しに活用している。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・利用者やご家族の希望によっては、1回/月関連病院の往診を行い、健康管理をしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	3	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・各機関との協力関係は少ないが、近隣の公民館でのお謡いの練習参加や、文化展への見学に行っている。	1	・ボランティアを募集し支援に繋がりたい。
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	・公民館の主事の方などに相談し、公民館でのサークル活動（お謡い）への参加するための支援を行った。 ・必要に応じて話し合いを行い、支援できる体制をとっている。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・ご家族に地域包括支援センターについて説明は行っている。 ・地域運営推進会議に参加してもらい、相談などを行っている。	0	
		45 外部 評価 21	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・定期的な受診は、家族にも対応してもらい、緊急時は職員が対応し、内容を家族に報告している。 ・連携病院には1回/月往診をお願いしている。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・医療機関へ、家族対応でも受診してもらい、最近の状況を書面にて医師へ報告している。 ・かかりつけ医がない場合、関連病院精神科へ紹介し、適切な治療が受けられるよう支援も行っている。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・施設内の看護師と、日頃から入居者の体調の変化を話し合い、必要に応じて受診を支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・入院になった場合は、経過や生活内容等を書面にて報告し、入院中の状況を逆に訪ねるなどして情報交換を行っている。 ・早期の退院に向けて、病院の看護師長、ソーシャルワーカー等と相談している。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・体調の変化が現れ、必要と思われるときに、本人、家族、医師と連携を取り話し合いを行っている。	1	・終末期ケアを勉強会の内容に取り入れていきたい。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・医師と相談し、できることを見極め、職員間で共通の支援ができるよう、話し合い取り組んでいる。	1	1例ではあるが、終末期を介護する機会があった。最後の看取りはできなかったが、ぎりぎりの時期まで、本人、ご家族、医師、ケア職員が一致団結の下、介護を行うことができた。本人の「最後まで桜花で暮らしたい」という希望には何とか添えることができた。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・自宅や他施設、病院などへ移られる場合は情報を提供し、必要に応じては、他施設の相談員の方とも話し合いを行っている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価3 8項目・外部評価1 1項目	8	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価3 0項目・外部評価9 項目	5	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3 項目・外部評価2 項目	0	
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・個人情報や言葉かけに対しては、新人研修で説明し、他の職員にはミーティング時に、随時指導を行っている。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・常に声をかけ、個人の希望など言いやすい雰囲気を作り心をかけている。 ・何かを行う時には、必ず説明し、納得されてから行うようにしている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・職員側の都合や業務優先にならないように、利用者のペースを守ること、「待つこと」の大切さをミーティングで話し合い、必要に応じ指導を行い、支援をしている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・2ヶ月に1度、訪問理美容を利用し、希望があれば、近隣の店に行けるように支援を行っている。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しいものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・食事準備やかたづけなど、できることに参加してもらえよう支援を行っている。	1	・入居者の負担とならないように、注意をしていきたい。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・日常的ではないが、おやつなど好みを伺い、買いに行き楽しめるように支援を行っている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・入居後の状況により、昼間のみ下着に変更したり、排泄のパターンを把握しトイレ誘導により失禁が少なくなるよう支援を行っている。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・入浴の希望を伺い、入浴方法や時間も本人の希望に沿って支援を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・昼寝の習慣のある方などは、適当な時間ベッドなどで休んでもらい、夜間の睡眠に支障が無い程度で、声かけをするなどの支援を行っている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・個人の状態に合わせた役割や、気晴らしのための散歩(室内外)の支援を行っている。 ・趣味(お謡い)のある方へは、近隣の公民館へ出かけ楽しんでもらえるよう支援を行っている。	1	・入居者の趣味や特技を活かし、楽しく過ごせるよう支援をしていきたい。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・希望される方へは、お金の所持を認めている。 ・買い物を希望される方へは、直接購入に行けるように支援を行っている。 ・個人ノートを準備し、購入後のレシートを添付している。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・希望があれば、散歩や買い物に行けるように支援をいている。 ・表現の乏しい方なども、職員側から声をかけ出かけられるような支援も行っている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・個人の意見を参考に聞き、行ける所へは行事に取り入れて、出かけられるように支援を行っている。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・本人から希望があれば、事務所の電話を使用し、かけることができるように支援を行っている。 ・葉書きや年賀状などの希望を聴き、やり取りができるように支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	・友人、知人等は遠方の方が多く訪問がなかなか無いが、家族などの来所時には、希望される場所でお話ができ、お茶をお出しし、気軽に過ごせるよう工夫している。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	3	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・委員を決め、必要時に召集し会を開き内容を後日、他の職員も閲覧し身体拘束をしないケアを実施している。	0		
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・職員間で、玄関に鍵をかけなくても対応できる方法を話し合い、現在は玄関にセンサーを設置し、日中は取り組みが実施できている。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・同じ勤務帯の職員間で声を掛け合い、所在や様子を把握できている。 ・訪室時はロックをし、個人のプライバシーに十分配慮をしている。 ・夜間は1時間毎の巡視を行い、安全に留意している。	1	・失禁時など、羞恥心にも配慮し対応に十分気を付けていきたい。	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・注意物品には、十分に気を配り定位置に収納し保管や管理を行っている。 ・状態に応じて、私物のハサミなどは、個人の保管に任せている方もある。	0		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・マニュアルを作成し、ヒヤリハットや事故報告書の提出があった時は、ミーティングで再発防止のための話し合いを行っている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・事故発生時のマニュアルを作成し、職員は内容を理解把握している。	1	・全職員が対応できるように救命講習に参加させる。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・災害時のマニュアルを作成している。 ・防災訓練を利用者も一緒に年に2回実施している。	1	今後は地域運営推進会議などを利用し、地域の方々に協力を働きかけていきたい。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・必要時及び介護計画作成時に家族に説明し、対応策を検討、計画の中に盛り込み理解を得ている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・毎日バイタルのチェックを行い、記録表に記入している ・日頃から各個人との対話を行っており、体調の変化に気付いた時は速やかに上司に報告し受診を検討している。 ・緊急時には、病院の医師に連絡し指示を仰ぎ、必要時には受診をしている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・受診後は、受診記録に記入し全職員が確認し、薬の内容等も把握できるようにしている。 ・細かい内容等がある場合、申し送りノートに記入したり、薬箱に表示するなどの対策を取っている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・便秘予防のため、食事や運動に気を配り数日続くようであれば、病院の医師と連絡を取り指示を仰ぎ、必要時は受診をしている。 ・排泄チェック表を作成し、確認時に記入するようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後、一人ひとりに声をかけ自分で歯磨きを行ってもらっている。 ・残渣物が残っている場合は、ケアの支援も行っている。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事量や、必要な方は水分量もチェック表を作成し記録している。 ・偏食の方へは、バランスよく食べられるように声かけを行っている。	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	・感染防止マニュアルを作成している。 ・講習等に参加し、予防の対策を実施している。 ・玄関に掲示し、来所者の方にも手洗いうがいをお願いしている。	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・衛生管理マニュアルを作成し、徹底するべきことは、抜粋し台所の目に付く所に貼り、全職員が統一してできるようにしている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	3	
	2 生活環境づくり	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	1	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りできるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・玄関前の花壇を中心に草花を植え、周囲にはベンチを置き気軽に休憩ができ、花が眺められるように工夫をしている。	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・共用の居間には、季節感のある装飾を行い、光や音、臭いにも配慮をしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・共用空間の居間では、テーブルやソファの配置に気を配り、自由に過ごせるよう工夫をしている。	1	・入居者の状況に合わせ、工夫を続けていきたい。	
		85	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・各自の居室には、タンスや椅子などの家具を持ち込み、壁面などには親しみのある物を飾るなど、自由な工夫の援助を行っている。	1	・日頃より入居者の意見を聞き、ご家族と相談をし、過ごしやすい居室にしていきたい。	
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・起床時や、天気のよい時には窓を開け匂いや空気のよどみが無いように配慮をしている。 ・温度計や湿度計を利用し温度調整にも気を配っている。 ・24時間換気の設定を整えている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	2	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・居間や廊下、トイレ、浴室などに手すりを設置し、車椅子でも対応できる広さがあり、段差の無い設備となっている。	1	・場面に応じ、自立した生活が送れるよう日々、工夫をしている。	
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・食事準備や片付け、洗濯物干しやたたみ、室内外の掃除などでもできる方には協力してもらい、自立に向けた援助を行っている。	1	・混乱や失敗が合った場合、家族や職員で話し合い、工夫を重ねていきたい。	
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・玄関前には花壇があり、周囲にプランターを置き、花植えを一緒に行っている。 ・建物の南北には畑があり、野菜作りにも参加してもらい、楽しんでもらっている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。